

平成 30 年度 服部天神駅東側歩路等整備における事後調査（概要版）

1. 過年度調査結果概要

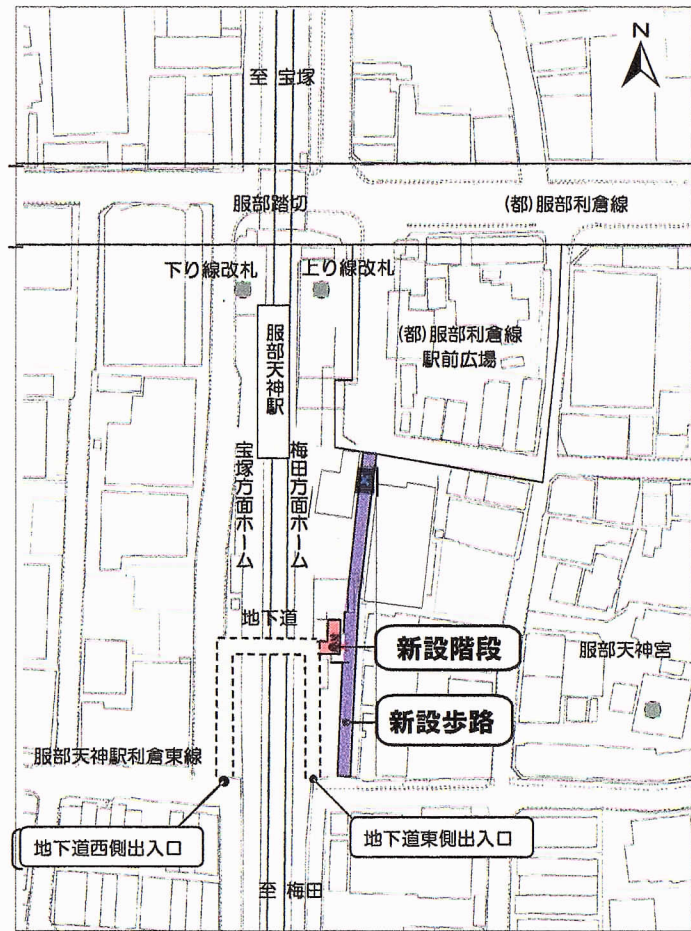
【平成 26 年度における想定整備効果のまとめ(平成 27 年 3 月)】

- ①踏切横断歩行者数データ 4,823 人 (平成 23 年 6 月 30 日 (木)の交通量調査より)
- ②踏切横断歩行者のうち駅利用者の割合 83%
- ③現状の問題が解決されれば地下道を利用すると回答のあった潜在的な地下道利用者の割合 63%
- ④府道豊中吹田線から南側に居住又は職場等があり利活用が見込まれる割合 45%
※②、③、④ (平成 25 年 11 月 26 日 (火)の地下道利用アンケート調査より)

以上①～④より想定される整備効果として、①×②×③×④を乗じたところ、府道豊中吹田線から南側の地下道利用歩行者想定人数は、ピーク時 5 時間(7 時～9 時、17 時～21 時)で 1,135 人(1 時間当たり約 227 人)になるものと見込んだ。

2. 東側歩路等整備の概要

【整備後の状況】



3. 事後調査の概要

(1) 調査日時

晴天時：平成 30 年 10 月 18 日(木)7 時～9 時(2 時間)、17 時～21 時(4 時間)

雨天時：平成 30 年 10 月 11 日(木)7 時～9 時(2 時間)

平成 30 年 11 月 9 日(金)*17 時～21 時(4 時間)

*雨天時夕方については、10 月 11 日の午後が発生した人身事故の影響でダイヤが大幅に乱れたため、11 月 9 日に延期し調査を行った。

(2) 利用実態調査(交通量調査)

1) 調査項目

駅構外地下道、歩路及び階段の利用状況を確認するため、歩行者等の交通量や移動動線を把握する定量的調査及び踏切周辺の滞留状況や渋滞長等の定性的調査を実施した。

2) 調査結果

① 定量的調査より

- ・ 駅構外地下道、歩路及び階段の利用状況については、想定していた朝ピーク時 2 時間の利用者数 454 人(1 時間当たり約 227 人)に対し、477 人(1 時間当たり約 239 人)と上回り整備効果が確認できた。
- ・ 駅西側道路を南から北へ向かう歩行者は、平成 23 年度調査時と比較して平均 520 人減少し、逆に駅東側道路を北から南へ向かう歩行者数は平均 290 人増加していたため、地下道利用による移動動線の変化が確認できた。



表 1. 地下道利用者調査概要

調査結果	東行き歩行者数	西行き歩行者数
	(朝) 397 人/2h = 199 人/h (32 人/h) (晴天時) (夕) 184 人/3h = 61 人/h(催事利用により使用不可)(晴天時)	(朝) 58 人/2h = 29 人/h(11 人/h) (晴天時) (夕) 57 人/3h = 19 人/h(催事利用により使用不可)(晴天時)
(朝) 418 人/2h = 209 人/h (32 人/h) (雨天時) (夕) 176 人/3h = 59 人/h (20 人/h) (雨天時)	(朝) 59 人/2h = 30 人/h(12 人/h) (雨天時) (夕) 44 人/3h = 15 人/h(10 人/h) (雨天時)	

()は H23 年度調査人数

② 定性的調査より

- ・ 朝の服部踏切での踏切待ちの状況は、平成 23 年度調査時に比べ、踏切を待つ人が広がる範囲に大きな変化は見られないが、混み具合の緩和が見受けられた。
- ・ 平成 23 年度調査時に比べ、ダイヤ改正による踏切遮断回数の増加はあるが、細やかな踏切の開閉が行われるようになり遮断時間が短くなったことで、踏切の待ち時間が短縮された。

(3) アンケート調査(ヒアリング調査)

駅及び踏切の利用状況等を把握するためのアンケート調査を駅利用者、踏切横断者、階段・歩路利用者、大商学園高等学校の生徒及び買物等のために自転車で通行する主婦を対象に実施した。

- ・ 各対象別の主な意見として、『階段が出来て便利』、『綺麗になってうれしい』、『明るい』、『通りやすい雰囲気』、『階段傾斜が楽』、『歩路が出来てすごく近くなった』などがあり、好印象な意見が多かった。



表 2. アンケート調査概要

回収結果	調査箇所	主な意見
	【東西踏切】 99 人(雨天時)、220 人(晴天時) 【歩路・階段新設】 35 人(雨天時)、50 人(晴天時) 【歩路(自転車通行の主婦)】 33 人(晴天時) 【大商学園高等学校の生徒】 60 人(晴天時)	

4. 効果検証の考察

全調査結果より、駅利用者数の増加(1,470 人)はあったものの東側歩路等整備事業により踏切に集中していた人の流れが定量的及び定性的調査より分散していることが確認できたため、服部踏切周辺の安全性は向上したものと評価できる。